

# 幼稚園における外遊びの時間と園庭や自然環境との 関係に関する研究

浅井拓久也\* 森下嘉昭

## Study on the Relationship between Outdoor Playtime and the Playground or Natural Environment in Kindergartens

ASAI Takuya MORISHITA Yoshiaki

### 1. 研究背景と研究目的

本研究の目的は、幼稚園における外遊びの時間と外部環境、特に利用できる園庭や自然環境の有無や活用方法との関係を明らかにすることである。

子どもの健全な育ちを保障するためには、様々な遊びが重要であることは論を俟たない。遊びは子どもが遊ぶ場所・空間によって、室内遊びと外遊びと分けることができる。中でも外遊びは、室内遊びだけでは経験できない経験、たとえば身体を存分に使ったり園庭に存在する植物等の自然と接触したりする経験を得ることができる。そのため、外遊びは外で遊ぶ機会を子どもに単に提供すればよいのではなく、計画的に行うことが重要であるとされている。「幼稚園教育要領解説」には、「このような指導（計画的な指導：筆者注）を展開するに当たっては、園庭の自然環境、テーブルや整理棚など生活に必要なものや遊具、幼稚園全体の教職員の協力関係など、幼稚園全体の物的・人的環境が幼児期の発達を踏まえて教育環境として十分に配慮されていることが大切である。」（文部科学省、2018、p.91）、「幼児の年齢や生活経験などを考慮し、安全に配慮しながら、幼児が取り組んでみたいと思えるように園内の遊具や用具を配置したり、自然環境の整備をしたりすることが大切である。」（文部科学省、2018、p.139）と示されている。

また、外遊びでは、こうした園の敷地内である園庭だけではなく、園外の（地域の中の自然との関わりを子どもに提供することも重要である。「幼稚園教育要領」にも、「園庭ばかりではなく、近隣の公園や広場、野原や川原などの園外に出掛けることも考えながら、幼児が戸外で過ごすことの心地よさや楽しさを十分に味わうことができるようにすることが大切である。」（文部科学省、2018、p.139）と示されている。

外遊びを充実させるために、園庭や自然環境の整備が重要であるからには、ではどのような園庭や自然環境を用意することで保育者が外遊びを選択することにつながるのだろうか。先行研究を概観すると、子どもの発達に対する外遊びの有効性を調査した研究や園庭や自然環境の現況を調査した研究は存在するが、外遊びと園庭や自然環境の現状や課題がどのように関係しているかを調査した研究は見られなかった。

そこで本研究では、外遊びの充実につながる外部環境に関する示唆を得るために、一つの県の全幼稚園を対象とした悉皆調査を行うことで、外遊びと園庭や自然環境のような外部環境との関

---

\* 鎌倉女子大学

係を明らかにすることを旨とする。この研究は、何らかの仮説を証明したり主張を裏付けるデータを収集したりすることではなく、むしろ仮説や主張を形成するためのデータを広く収集・分析することを目的とするため、回収したデータ分析の結果に対する考察はせず調査結果を提示するにとどめ、今後の研究の基礎資料と位置付ける<sup>1)</sup>。

## 2. 研究方法

### (1) 調査対象・調査方法・分析方法

調査対象は埼玉県ホームページに掲載されていた埼玉県内の公立幼稚園（39園）、私立幼稚園（446園）の485園とした<sup>2)</sup>。調査期間は2023年5月1日から5月31日とした。調査方法は郵送による質問紙調査とした。

質問項目は、園庭等の自然環境に関する先行研究である三重県（2015）、秋田他（2018、2019）、石田他（2021）を踏まえて作成した<sup>3)</sup>。本研究の目的は外遊びの時間と外部環境、特に園庭や自然環境の関係を検討することであったことから、外遊びの時間、園庭や自然環境の有無や活用方法、園庭や自然環境に関して抱く課題や必要とする支援の3点に関する以下の質問項目を選択し使用した<sup>4) 5)</sup>。

問1 貴施設の所在地はどのような地域でしょうか。該当する項目に○をしてください。

1. 中心市街地 2. 郊外の住宅地 3. 田や畑が多い農業地帯 4. 森林が多い中山間地域 5. その他

問2 次の1～13のうち、貴施設の園庭にある環境に○をつけてください。（複数回答可）

1. 砂 2. 土や泥遊びができる場所 3. 水遊び場 4. ビオトープ 5. 芝生地や雑草地 6. 樹木やツル性植物（→問3へお進みください。） 7. 菜園（畑） 8. 花壇やプランター 9. 飼育動物 10. 築山や斜面 11. 固定遊具 12. ひらけたスペース 13. その他

問3 園庭に樹木やツル性植物があると回答した方は、保育でどのように活用していますか。該当する項目に○をつけてください。（複数回答可）

1. 園の景観や目隠し・防音・防風・防災のために活用する 2. 日陰、木陰として活用する 3. 幹や切り株に座ったり、くつろいだりするなど休憩する場所として活用する 4. 樹木（花、実、樹皮、幹など）を観察する 5. 樹木にいる虫を捕る、観察する 6. 葉や実、木の棒、樹皮を拾ったり、遊びのなかで使う 7. 樹木を利用した遊具を作成し遊ぶ 8. 木登り等、身体を使って遊ぶ 9. 果樹を収穫して食べる、調理する 10. 自然物を使った造形活動や制作活動の際に活用する 11. ネイチャーゲーム等の自然をテーマしたプログラムを実施する際に活用する 12. 自然の大切さなどについて話をする等、環境への教育を意識した活動の際に活用する 13. その他

問4 園庭以外で、自然と関わることのできるフィールド（自園で所有または借り受けしている場）はありますか。

有 無

「有」と回答した方、どのようなフィールドか該当する項目に○をつけてください。（複数回答可）

1. 菜園（畑） 2. 田んぼ 3. 森林（雑木林、裏山、里山、樹林地、竹林、緑地等） 4. 自然観察園 5. その他

問5 園庭や自園の自然フィールドを活用する際に難しさや課題だと感じていることに○をつけてください。（複数回答可）

1. 子どもが触れ合える自然の種類や量が少ない 2. 園庭や自園の自然フィールドが狭い 3. 維持管理に手間がかかり、保育者の負担が大きい 4. 維持管理にお金がかかる 5. 衛生面の配慮や安全管理に不安を感じる 6. 保育計画が不十分である 7. 保育者の知識や技術不足で自然を活用

した保育が難しい 8. 人手不足で充実した活動ができない 9. その他

問6 地域で使用できる自然と関わることのできるフィールドが「有」と回答した方は、どのようなフィールドか該当する項目に○をつけてください。

1. 森林（雑木林、裏山、里山、樹林地、竹林、緑地等） 2. 高原・野原 3. 菜園（畑） 4. 田んぼ 5. 川、湖、沼、河原 6. 公園 7. 神社、寺、教会 8. 学校 9. 社会教育施設・青少年教育施設 10. その他

問7 地域の自然フィールドを利用する際に課題と感じていることに○をつけてください。（複数回答可）

1. 地域に自然豊かな利用できるフィールドが少ないまたはない 2. フィールドはあるが、所有者が不明など利用してよいかわからない 3. フィールドまで交通量や道幅、距離など移動に不安がある 4. フィールドの整備が不十分で安心して利用できない 5. フィールドでの衛生面の配慮や安全管理に不安を感じる 6. 保育計画が不十分である 7. 保育者の知識や技術不足で自然を活用した保育が難しい 8. 人手不足で充実した活動ができない 9. 他園と時間が重なったり、トラブルになることが心配 10. 保護者から理解を得ることが難しい 11. 行政からの支援が得られない 12. その他

問8 貴施設では、普段の保育実践のなかで、以下のような活動をどのくらいの頻度で行っていますか？以下のA～Nの項目について、それぞれあてはまる頻度（1～4）に○をつけてください。活動によりますが、「よく行っている」は概ね週に1回以上、「ときどき行っている」は概ね月1回以上または年間で集中して行う期間がある場合を目安としてお答えください。

A. 園内や地域の自然環境（園庭、裏山、里山、森、樹林地、竹林、緑地、雑木林、田畑、川）のなかでの自由遊び B. ネイチャーゲーム等の自然をテーマにしたプログラムの実施 C. 自然物を使った工作や造形活動 D. 全身服が汚れるような泥遊び E. 花壇やプランターでの植物の栽培 F. 野菜、お米、果樹などの栽培、収穫体験 G. 収穫物を使った調理・食育活動 H. 動物や虫の飼育 I. 園庭等の自然のなかで朝の会・帰りの会を行う J. 園庭等の自然のなかで絵本の読み聞かせを行う K. 園外への散歩 L. 雨の日の屋外での活動 M. 川遊び N. 焚火などの火を使った活動

問9 保育において、園庭や地域を活用し自然と関わる機会を増やしていくためには、どのような支援があるとよいと感じますか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 自然と関わる実践に関する研修の機会の提供、充実 2. 保育者確保への支援 3. 保育者の育成への支援 4. 自然と関わる実践についての情報提供（ポータルサイトやホームページなど） 5. 専門家の助言や協力 6. 園の環境整備への資金面での補助や助成 7. 利用してよいフィールドについての情報提供や地域住民とつなぐ支援 8. 自治体の自然保育認定・認証制度創設による自然をいかした保育の支援・推進 9. その他

問10 問9で「1. 自然と関わる実践に関する研修の機会の提供、充実」に○を付けた方はどのような研修を望みますか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 自然と関わる際の安全管理についての研修 2. 自然物の種類や特性など自然についての研修 3. 自然と関わるプログラム（ネイチャーゲーム等）の研修 4. 園庭や屋外の環境整備・環境構成についての研修 5. 自然と関わる先進的な実践をしている園の報告・視察 6. 自然と関わる実践をしている他園との交流 7. 自園に講師が出向いて、実際に保育に活用できる実践を体験・助言 8. その他

問11 貴施設では屋外での活動をどの程度行っていますか。（一日のおおよその平均外遊び時間）

1. 30分未満 2. 30分以上1時間未満 3. 1時間以上2時間未満 4. 2時間以上3時間未満 5. 3時間以上

分析に使用したデータは、回収した質問紙 237 件（49%）のうち、幼稚園ではなく認定こども園と回答があった 20 件と、複数回答不可の設問に対して複数回答がなされている等の回答が正確に把握できない回答を削除した 213 件のデータとした。また、いくつかの設問に設置された「その他」の記述は回答数が少なく、分析に与える影響は軽微と判断して今回の分析からは除外した。

以上のデータを基にして、外遊びの時間と環境要因のクロス集計を行い、クラメールの V 係数を算出した。外遊びの時間は、「30 分未満」「30 分以上 1 時間未満」を「外遊びの時間は短い」（表内では「短い」）、「1 時間以上 2 時間未満」は「外遊びの時間は普通」（表内では「普通」）、「2 時間以上 3 時間未満」「3 時間以上」を「外遊びの時間は長い」（表内では「長い」）と 3 つに分けて分析を行った。有意確率は、「 $p < .001$ 」は「\*\*\*」、「 $p < .01$ 」は「\*\*」、「 $p < .05$ 」は「\*」に従い記号を付した。

## (2) 倫理的配慮

本研究は秋草学園短期大学研究倫理審査委員会の承認を得て行った（承認番号 2022-14）。

## 3. 結果

表 1 は「学校所在地の特徴」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 1 学校所在地の特徴×外遊びの時間

	短い	普通	長い
中心市街地	13	35	7
郊外の住宅地	42	46	20
田や畑が多い農業地帯	11	9	7
森林が多い参観地域	0	1	0
n=191, Cramer's V = .165, p=.109			

表 1 によると、「学校所在地の特徴」と「外遊びの時間」は関連があるとは言えなかった。

表 2 は「園庭の環境」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 2.1 砂場×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	2	1	1
有	66	103	34
n=207, Cramer's V = .071, p=.594			

表 2.2 土や泥遊びができる場所×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	39	46	7
有	29	58	28
n=207, Cramer's V = .251, p=.001**			

表 2.3 水遊び場×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	49	70	21
有	19	34	14
n=207, Cramer's V = .086, p=.462			

表 2.4 ビオトープ×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	63	98	31
有	5	6	4
n=207, Cramer's V = .078, p=.535			

表 2.5 芝生地や雑草地×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	40	38	16
有	28	46	19

n=207, Cramer's V = .089, p=.439

表 2.6 樹木やツル性植物×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	18	22	7
有	50	82	28

n=207, Cramer's V = .064, p=.658

表 2.7 菜園（畑）×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	44	72	22
有	24	32	13

n=207, Cramer's V = .056, p=.721

表 2.8 花壇やプランター×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	17	16	2
有	50	88	33

n=206, Cramer's V = .180, p=.035\*

表 2.9 飼育動物×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	53	62	21
有	15	42	14

n=207, Cramer's V = .180, p=.034\*

表 2.10 築山や斜面×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	53	72	19
有	15	32	16

n=207, Cramer's V = .172, p=.047\*

表 2.11 固定遊具×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	7	5	1
有	61	99	34

n=207, Cramer's V = .119, p=.230

表 2.12 ひらけたスペース×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	37	47	10
有	31	57	25

n=207, Cramer's V = .173, p=.044\*

表 2 によると、「土や泥遊びができる場所」、「花壇やプランター」、「飼育動物」、「築山や斜面」、「ひらけたスペース」と「外遊びの時間」は関連があった。

表 3 は「園庭の樹木やツル性植物の活用方法」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 3.1 園の景観や目隠し・防音・防風・防災のために活用する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	48	64	20
有	20	40	15

n=207, Cramer's V = .104, p=.323

表 3.2 日陰、木陰として活用する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	25	25	8
有	43	79	27

n=207, Cramer's V = .137, p=.145

表 3.3 幹や切り株に座ったり、くつろいだりするなど休憩する場所として活用する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	67	93	30
有	1	11	5

n=207, Cramer's V = .178, p=.037\*

表 3.4 樹木（花、実、樹皮、幹など）を観察する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	23	34	7
有	45	70	28

n=207, Cramer's V = .107, p=.305

表 3.5 樹木にいる虫を捕る、観察する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	36	36	9
有	32	68	26

n=207, Cramer's V = .208, p=.011\*

表 3.6 葉や実、木の棒、樹皮を拾ったり、遊びのなかで使う×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	32	34	5
有	36	70	30

n=207, Cramer's V = .233, p=.004\*\*

表 3.7 樹木を利用した遊具を作成し遊ぶ×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	68	91	28
有	0	13	7

n=207, Cramer's V = .246, p=.002\*\*

表 3.8 木登り等、身体を使って遊ぶ×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	64	84	26
有	4	20	9

n=207, Cramer's V = .202, p=.014\*

表 3.9 果樹を収穫して食べる、調理する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	50	67	21
有	18	37	14

n=207, Cramer's V = .107, p=.305

表 3.10 自然物を使った造形活動や制作活動の際に活用する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	52	69	17
有	16	35	18

n=207, Cramer's V = .198, p=.017\*

表 3.11 ネイチャーゲーム等の自然をテーマとしたプログラムを実施する際に活用する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	67	99	32
有	1	5	3

n=207, Cramer's V = .119, p=.234

表 3.12 自然の大切さなどについて話をする等、環境への教育を意識した活動の際に活用する×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	53	71	22
有	15	33	13

n=207, Cramer's V = .121, p=.218

表 3 によると、「幹や切り株に座ったり、くつろいだりするなど休憩する場所として活用する」、「樹木にいる虫を捕る、観察する」、「葉や実、木の棒、樹皮を拾ったり、遊びのなかで使う」、「樹木を利用した遊具を作成し遊ぶ」、「木登り等、身体を使って遊ぶ」、「自然物を使った造形活動や制作活動の際に活用する」は「外遊びの時間」と関連があった。

表 4 は「自園で活用できる園庭以外の室外・屋外の場」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 4.1 菜園（畑）×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	46	64	14
有	22	40	20

n=207, Cramer's V = .167, p=.020\*

表 4.2 田んぼ×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	66	101	33
有	2	3	2

n=207, Cramer's V = .058, p=.704

表 4.3 森林×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	58	89	29
有	10	15	6

n=207, Cramer's V = .028, p=.924

表 4.4 自然観察園×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	64	98	30
有	4	6	5

n=207, Cramer's V = .122, p=.212

表 4 によると、「菜園（畑）」と「外遊びの時間」は関連があった。

表 5 は「園庭や室外・屋外の場の活用に関する困りごと・課題」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 5.1 子どもが触れ合える自然の種類や量が少ない×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	49	70	29
有	19	34	6

n=207, Cramer's V = .123, p=.210

表 5.2 園庭や自園の自然フィールドが狭い×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	55	78	33
有	13	26	2

n=207, Cramer's V = .173, p=.046\*

表 5.3 維持管理に手間がかかり、保育者の負担が大きい×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	38	56	23
有	30	48	12

n=207, Cramer's V = .086, p=.468

表 5.4 維持管理にお金がかかる×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	43	70	28
有	25	34	7

n=207, Cramer's V = .121, p=.217

表 5.5 衛生面の配慮や安全管理に不安を感じる×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	56	90	30
有	12	14	5

n=207, Cramer's V = .053, p=.748

表 5.6 保育計画が不十分である×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	63	99	33
有	5	5	2

n=207, Cramer's V = .049, p=.783

表 5.7 保育者の知識や技術不足で自然を活用した保育が難しい×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	47	87	29
有	21	17	6

n=207, Cramer's V = .165, p=.160

表 5.8 人手不足で充実した活動ができない×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	56	91	34
有	12	13	1

n=207, Cramer's V = .149, p=.100

表 5 によると、「園庭や自園の自然フィールドが狭い」と「外遊びの時間」は関連があった。  
表 6 は「地域にある自然と関わるができる場」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 6.1 森林×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	57	94	26
有	11	10	9

n=207, Cramer's V = .166, p=.058

表 6.2 高原・野原×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	67	104	32
有	1	0	3

n=207, Cramer's V = .223, p=.006\*\*

表 6.3 菜園（畑）×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	63	97	31
有	5	7	4

n=207, Cramer's V = .660, p=.660

表 6.4 田んぼ×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	62	99	32
有	6	5	3

n=207, Cramer's V = .078, p=.530

表 6.5 川、湖、沼、河原×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	65	97	28
有	3	7	7

n=207, Cramer's V = .197, p=.018\*

表 6.6 公園×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	50	60	16
有	18	44	19

n=207, Cramer's V = .201, p=.015\*

表 6.7 神社、寺、教会×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	62	92	28
有	6	12	7

n=207, Cramer's V = .116, p=.250

表 6.8 学校×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	64	95	33
有	4	9	2

n=207, Cramer's V = .055, p=.468

表 6.9 社会教育施設・青少年教育施設×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	65	97	33
有	3	7	2

n=207, Cramer's V = .044, p=.817

表6によると、「高原・野原」、「川、湖、沼、河原」、「公園」と「外遊びの時間」は関連があった。

表7は「地域にある自然と関わることができる場の活用に関する困りごと・課題」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 7.1 地域に自然豊かな利用できるフィールドが少ないまたはない×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	45	75	26
有	23	29	9
n=207, Cramer's V = .069, p=.612			

表 7.2 フィールドはあるが、所有者が不明など利用してよいかわからない×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	68	99	33
有	0	5	2
n=207, Cramer's V = .132, p=.164			

表 7.3 フィールドまで交通量や道幅、距離など移動に不安がある×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	50	67	25
有	18	37	10
n=207, Cramer's V = .092, p=.419			

表 7.4 フィールドの整備が不十分で安心して利用できない×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	62	93	33
有	6	11	2
n=207, Cramer's V = .061, p=.685			

表 7.5 フィールドでの衛生面の配慮や安全管理に不安を感じる×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	55	89	26
有	13	15	9
n=207, Cramer's V = .107, p=.304			

表 7.6 保育計画が不十分である×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	65	100	33
有	3	4	2
n=207, Cramer's V = .033, p=.895			

表 7.7 保育者の知識や技術不足で自然を活用した保育が難しい×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	64	94	33
有	4	10	2
n=207, Cramer's V = .071, p=.594			

表 7.8 人手不足で充実した活動ができない×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	60	92	35
有	8	12	0
n=207, Cramer's V = .148, p=.105			

表 7.9 他園と時間が重なったり、トラブルになることが心配×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	63	102	33
有	5	2	2
n=207, Cramer's V = .122, p=.212			

表 7.10 保護者から理解を得ることが難しい×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	68	102	35
有	0	2	0
n=207, Cramer's V = .098, p=.368			

表 7.11 行政からの支援が得られない×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	65	99	33
有	3	5	2

n=207, Cramer's V = .020, p=.958

表 7 によると、「地域にある自然と関わることができる場の活用に関する困りごと・課題」のいずれも「外遊びの時間」と関連があるとは言えなかった。

表 8 は「自然と関わる日々の保育活動」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 8.1 園内や地域の自然環境（園庭、裏山、里山、森、樹林地、竹林、緑地、雑木林、田畑、川）のなかでの自由遊び×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	5	7	0
あまり行わず	14	10	1
ときどき行っている	23	20	6
よく行っている	24	65	28

n=203, Cramer's V = .240, p=.001\*\*

表 8.2 ネイチャーゲーム等の自然をテーマにしたプログラムの実施×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	38	40	14
あまり行わず	23	44	12
ときどき行っている	6	15	8
よく行っている	0	2	1

n=203, Cramer's V = .147, p=.188

表 8.3 自然物を使った工作や造形活動×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	7	10	0
あまり行わず	27	25	10
ときどき行っている	28	59	22
よく行っている	5	7	3

n=203, Cramer's V = .154, p=.141

表 8.4 全身服が汚れるような泥遊び×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	28	18	1
あまり行わず	22	31	4
ときどき行っている	13	40	15
よく行っている	5	13	13

n=204, Cramer's V = .332, p=.000\*\*\*

表 8.5 花壇やプランターでの植物の栽培×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	3	2	0
あまり行わず	11	8	3
ときどき行っている	27	42	13
よく行っている	27	51	19

n=206, Cramer's V = .124, p=.387

表 8.6 野菜、お米、果樹などの栽培、収穫体験×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	6	10	1
あまり行わず	12	10	5
ときどき行っている	32	53	15
よく行っている	17	31	14

n=206, Cramer's V = .118, p=.458

表 8.7 収穫物を使った調理・食育活動×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	27	27	3
あまり行わず	14	23	13
ときどき行っている	20	36	12
よく行っている	7	16	6
n=204, Cramer's V = .177, p=.047*			

表 8.8 動物や虫の飼育×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	7	11	1
あまり行わず	23	22	6
ときどき行っている	24	26	13
よく行っている	14	44	15
n=206, Cramer's V = .182, p=.033*			

表 8.9 園庭等の自然のなかで朝の会・帰りの会を行う×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	32	33	9
あまり行わず	23	35	17
ときどき行っている	8	19	7
よく行っている	5	16	2
n=206, Cramer's V = .160, p=.105			

表 8.10 園庭等の自然のなかで絵本の読み聞かせを行う×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	38	39	9
あまり行わず	27	46	17
ときどき行っている	2	16	8
よく行っている	1	3	1
n=207, Cramer's V = .192, p=.018*			

表 8.11 園外への散歩×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	13	18	4
あまり行わず	24	36	7
ときどき行っている	27	42	22
よく行っている	4	8	2
n=207, Cramer's V = .125, p=.368			

表 8.12 雨の日の屋外での活動×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	59	66	17
あまり行わず	7	31	12
ときどき行っている	2	7	6
よく行っている	0	0	0
n=207, Cramer's V = .223, p=.000***			

表 8.13 川遊び×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	61	89	31
あまり行わず	6	6	1
ときどき行っている	1	7	1
よく行っている	0	1	1
n=205, Cramer's V = .124, p=.394			

表 8.14 焚火などの火を使った活動×外遊びの時間

	短い	普通	長い
全く行わず	49	65	22
あまり行わず	14	28	7
ときどき行っている	5	10	5
よく行っている	0	1	1
n=207, Cramer's V = .106, p=.588			

表 8 によると、「園内や地域の自然環境（園庭、裏山、里山、森、樹林地、竹林、緑地、雑木林、田畑、川）のなかでの自由遊び」、「全身服が汚れるような泥遊び」、「収穫物を使った調理・食育活動」、「動物や虫の飼育」、「園庭等の自然のなかで絵本の読み聞かせを行う」、「雨の日の屋外での活動」と「外遊びの時間」は関連があった。

表 9 は「園庭や自然を活用した保育を行うために必要と考える支援」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 9.1 自然と関わる実践に関する研修の機会の提供、充実×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	41	66	19
有	27	38	16

n=207, Cramer's V = .067, p=.625

表 9.2 保育者確保への支援×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	52	73	26
有	16	31	9

n=207, Cramer's V = .064, p=.651

表 9.3 保育者の育成への支援×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	51	75	27
有	17	29	8

n=207, Cramer's V = .044, p=.817

表 9.4 自然と関わる実践についての情報提供（ポータルサイトやホームページなど）×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	48	77	24
有	20	27	11

n=207, Cramer's V = .048, p=.784

表 9.5 専門家の助言や協力×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	49	77	24
有	19	27	11

n=207, Cramer's V = .044, p=.818

表 9.6 園の環境整備への資金面での補助や助成×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	35	47	17
有	33	57	18

n=207, Cramer's V = .056, p=.719

表 9.7 利用してよいフィールドについての情報提供や地域住民とつなぐ支援×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	51	77	24
有	17	27	11

n=207, Cramer's V = .051, p=.768

表 9.8 自治体の自然保育認定・認証制度創設による自然をいかした保育の支援・推進×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	59	85	31
有	9	19	4

n=207, Cramer's V = .080, p=.517

表 9 によると、「園庭や自然を活用した保育を行うために必要と考える支援」いずれも「外遊びの時間」と関連があるとは言えなかった。

表 10 は「園庭や自然を活用した保育を行うために必要と考える研修会」と「外遊びの時間」のクロス集計表である。

表 10.1 自然と関わる際の安全管理についての研修×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	50	73	23
有	18	31	12

n=207, Cramer's V = .058, p=.708

表 10.2 自然物の種類や特性など自然についての研修×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	56	74	24
有	12	30	11

n=207, Cramer's V = .129, p=.178

表 10.3 自然と関わるプログラム（ネイチャーゲーム等）の研修×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	50	79	25
有	18	25	10

n=207, Cramer's V = .039, p=.851

表 10.4 園庭や屋外の環境整備・環境構成についての研修×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	54	83	27
有	14	21	8

n=207, Cramer's V = .024, p=.944

表 10.5 自然と関わる先進的な実践をしている園の報告・視察×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	61	81	32
有	7	23	3

n=207, Cramer's V = .170, p=.050

表 10.6 自然と関わる実践をしている他園との交流×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	65	96	30
有	3	8	5

n=207, Cramer's V = .124, p=.206

表 10.7 自園に講師が出向いて、実際に保育に活用できる実践を体験・助言×外遊びの時間

	短い	普通	長い
無	58	88	29
有	10	16	6

n=207, Cramer's V = .023, p=.948

表 10 によると、「園庭や自然を活用した保育を行うために必要と考える研修会」のいずれも「外遊びの時間」と関連があるとは言えなかった。

#### 4. まとめと今後の課題

本研究では、外遊びの充実につながる外部環境に関する示唆を得るために、外遊びと園庭や自然環境のような外部環境の有無や活用方法、それらの外部環境に対する課題や必要とする支援との関係を明らかにすることを目的とした。調査分析の結果、外遊びと関連のある項目もあれば、関連があるとは言えない項目が多様にあることがわかった。

冒頭で説明したように、本研究は何らかの仮説を証明したり主張を裏付けるデータを収集したりすることではなく、今後の研究で検討するための仮説や主張を形成するための基礎資料となるデータを収集・分析することを目指した。そのため、本研究の成果を基礎資料として、あるいは残差分析も行うことで、外遊びと外部環境の関係に関する研究を展開することが今後の課題となる。

#### 〈注記〉

- 1) なお、データ分析は浅井が、執筆は浅井と森下が共同で担当した。
- 2) 本研究で埼玉県を取り上げたのは、筆者の1名が埼玉県に居住しており、調査対象等に関する情報をもっていることによる。
- 3) 特定非営利活動法人 Support for Children の協力を得て質問紙作成及び調査を実施した。
- 4) 外遊びには物的環境や自然環境のような外部環境だけでなく、幼児数や保育者数のような人的環境も関係がある可能性があるが、本研究の調査は主に外部環境に関する調査であったことからここでは外部環境に限定した。なお、詳細は割愛するが、本調査には幼児数と保育者数を問う質問項目

があり、これら2つの質問項目と外遊びには関連があるとは言えなかった。

- 5)「問3 園庭に樹木やツル性植物があると回答した方は、保育でどのように活用していますか。該当する項目(p.3)に○をつけてください。(複数回答可)」のように、質問紙調査で使用した質問紙のページ番号を示している記述は削除して掲載した。

#### 〈参考文献〉

- 秋田喜代美・辻谷真知子・石田佳織・宮田まり子・宮本雄太(2018)「園庭環境の調査検討：研究の動向と園庭環境の多様性の検討」『東京大学大学院教育学研究科紀要』57巻、pp.43-65.
- 秋田 喜代美・石田 佳織・辻谷真知子・宮田まり子・宮本雄太(2019)『園庭を豊かな育ちの場に：実践につながる質の向上のヒントと事例』ひかりのくに株式会社.
- 石田佳織・宮田まり子・辻谷真知子・宮本雄太・秋田 喜代美(2021)「幼稚園・保育所・認定こども園での地域活用の実態に関する全国調査：人口規模の視点からの地域の意義や環境の分析」『都市計画論文集』56巻第1号、pp.14-23.
- 三重県(2015)「野外体験保育有効性調査報告書」
- 文部科学省(2018)「幼稚園教育要領」

#### 〈謝辞〉

本研究は「令和4年度国土緑化推進機構緑と水の森林ファンド助成事業」の助成を受けた研究である。